

2021年7月7日

mui Lab 株式会社に投資実行

京都中央信用金庫（理事長 白波瀬 誠）を有限責任組合員、中信ベンチャーキャピタル株式会社（代表取締役社長 川勝 哲夫）を無限責任組合員（ファンドの運営者）として設立された「中信ベンチャー・投資ファンド5号投資事業有限責任組合」は、mui Lab 株式会社が実施した第三者割当増資に投資家として参加し、投資を実行いたしましたのでお知らせいたします。今後も地元ベンチャー企業への積極的な支援を通じて、地域の活性化に努めてまいります。

記

《投資先企業の概要》

企業名	mui Lab 株式会社
代表者	大木 和典
事業内容	自然素材のIoTデバイスの開発 UI/UX ソフトウェアの開発
所在地	京都市中京区夷川通柳馬場東入俵屋町 294 番地 1
設立	2017年10月27日
投資金額	10,068,600円

《投資先企業について》

同社は、NISSHA 株式会社の社内ベンチャーから独立したテクノロジースタートアップ企業です。テクノロジーが人や自然と不調和に在る現状を問題視し、テクノロジーが穏やかに人の生活に佇む未来を目指し、Calm Technology & Design を提唱、UI/UX と、実装のための技術開発を行う企業です。

同社の主力商品である IoT を活用した木製インターフェース「mui」は、テクノロジーを介して生活を便利にすると同時に、身近な自然を思い出すこと、美しさを再発見することの実現を目指しています。生活の中に一片の木が存在することで温かみが生まれ、テクノロジーの冷たさを和らげる。その空間で豊かな時間を過ごすために、無為自然に静かに佇むプロダクトとして、「mui」は木とテクノロジーを融合したデザインとなっており、現在は商業施設やビジネスオフィス、住宅での利用機会も増えています。

以上